

令和7年度

参加
無料

支援者向け

遺族支援研修会

— 悲しみを抱える人に寄り添うために — グリーフと支援の基本 —

大切な人との死別、特に自死による別れは、遺された方に強い抑うつや孤独感をもたらすと言われています。一方、自死に対する社会的理解の少なさ等から、周囲から孤立してしまう遺族は少なくありません。本研修会では、遺族等の心理社会的状況を理解し、安心して生活できるような関わりや、グリーフケアについて学びます。

また、自死以外の突然の死別についても少しお話いただきます。ぜひご参加ください。

概要

日時・申込

令和8年 **2.19** (木)
13:30 ~ 15:00

開催 **オンライン**

対象

自治体職員(福祉・保健・教育)、
医療・看護・心理職、警察・司法関係者、
民間団体スタッフ等

約50名

申込方法

下記URLからQRコードから申込

<https://forms.office.com/r/aXfaR3DytP>

【申込 〆 2/18(月)】



内容

講演

「自死、事件、事故遺族の
グリーフと支援」

赤田ちづる氏

(関西学院大学 悲嘆と死別の研究センター)

自死や事件・事故など突然の死別では、非現実感や罪悪感、怒り、PTSD等が生じやすく、検視・裁判や周囲の言葉による二次被害も大きい。こうした実情を理解し、遺族の孤立を防ぎ、直後から中長期まで期待される支援のあり方を検討する。

団体活動紹介 **大切な人を亡くした若者のつどいば等の活動について** (仮)

森本 康平氏

(一般社団法人リヴオンスタッフ(大切な人を亡くした若者のつどいば))

つどいばは、主に30歳以下の自死に限らず死別を体験された方が対象です。つどいばの概要、スタッフとして大切に行っている関わりやグリーフサポートなどについて、自身の過去の経験や活動(wishyou where hereの対話)を交え紹介します。(仮)

講師紹介

あかた

赤田 ちづる 氏



関西学院大学「悲嘆と死別の研究センター」客員研究員。
あかた・ちづる/上智大学グリーフケア研究所、関西学院大学大学院人間福祉研究科で学んだのち現職。
研究のかたわら、主に関西を拠点として、グリーフケアの実践活動や支援者の養成に広く取り組む。

もりもと こうへい

森本 康平 氏



92年生まれ。
0歳のときに母を自死で亡くす。
奈良県月ヶ瀬地域の地域支援の仕事の傍ら、「リヴオンの大切な人を亡くした若者のつどいば」や、友人が始めた自死で身近な人を亡くした人との対話の活動、子ども期に逆境体験をした人たちのオンラインコミュニティ運営などに携わる。
精神保健福祉士。

主催・問合せ

京都府健康福祉部地域福祉推進課 生活困窮・自殺対策推進係 Tel:075-414-4628